

令和2年度 小林市立東方中学校 自己評価及び学校関係者評価書

4段階評価（4：期待以上

3：ほぼ期待どおり

2：やや期待を下回る

1：改善を要する）

| | | | | | |
|--------------|---|--|--|--|--|
| 学校経営 ビジョン | ○ 学校教育目標を達成するために、第二次宮崎県教育基本計画及び小林市の教育基本方針を受け、本校の歴史と伝統、そして 保護者、地域、子どもの実態及びニーズを踏まえて、「学びたい」「学ばせたい」気持ちを高める小林教育の具現化を図る。 ○ 小中一貫教育を充実させ、学力向上を目指した授業改善、豊かな心の育成を目指した教育活動の推進、学校・家庭・地域が それぞれの教育的機能を発揮し、故郷への貢献を意識し、自立・感謝・貢献の学びの循環を確立することを目指す。 「様々な出来事に対応し、協働しながら未来を切り開く生徒の育成」 ～東方イノベーション～ICTの多角的な活用を土台に～ | | | | |
|--------------|---|--|--|--|--|

| 項目 | 本年度の重点目標と目標達成のための手段 | 数値目標 赤が実績 | 結果の考察・分析及び改善策等 | 自己評価 | | 関係者 評価 | 学校関係者評価のコメント |
|-----|---|--|--|------|-----|-----------|---|
| | | | | 項目 | 総合 | | |
| 知育 | ICTを効果的に活用した、授業力の向上の推進（授業公開・4つのチェックポイントを意識した授業づくり） | ○一人1回研究授業 全員行った ○学びたい度～ 95% ③地域や社会への関心90%以上 ○テスト平均～ 教科によりばらつき 経年変化昨年度比アップ ○Web単元100% 100%見込 ○英検・漢検等の一人1資格取得 ○読書活動の推進～貸出冊数 28.9冊 ※1月末現在 | ○パナソニック教育財団に指定を受け「主体的・対話的で深い学び」におけるICTの活用を通してを副題に全職員で取り組むことができた。主体的・対話的な学びを積極的に行えるように協働学習の仕方やICTの有効な活用方法について研修を行うことで、一人一人の授業改善ができた。今後はタブレットPCが一人一台になるので、さらに有効な活用の在り方を検討し、次年度の教科書改訂に準じた使用をしていきたい。 ○県及び全国規模の検査が相次いで中止になったが、地区及び校内テストの結果を校長が示し個別指導や学力向上の意識を高く持ち取り組むことができた。 ○キャリア教育の充実を地域の人材や空間を活用して例年行ってきたが、感染症拡大防止のため中止が相次いだ。しかしながら、調べ学習や講師の招聘など校内で安全に学べる場に代替して実施することができた。 ○漢字検定試験は38名受験し、6級1名、5級5名、4級7名、3級3名、2級2名合格。英語検定試験は32名受験し5級9名、4級5名、3級2名、準2級1名合格。感染症拡大のため漢字検定試験は1月開催分は中止となった。 | 3.3 | 2.9 | 3.2 | ○ICT活用推進モデル校として、他の学校より早く導入されたことで有効活用ができています。 ○一人一人が授業改善をし、個別指導の取組がよい。 ●資格は財産となるので、資格取得に挑戦する機会を設け挑戦させていただきたい。 ●読書によりいろいろな考え方や知識を得られるので、数多くいろんな本を読んでほしい。 ●保護者アンケートで家庭での読書量にメディアやゲーム、ICT機器が影響しているように感じます。使用についてのコントロールなど難しいようなのでこのことも研究できるといいです。 |
| | 各種テストの分析と学力向上対策に基づく徹底した指導の実践（個別指導の充実） | ○学びたい度～ 91% ①将来の夢90%以上 | ○道徳科の授業においてのいのちの尊さに関する学習を、学級活動の時間に人権に関する学習を意図的・計画的に実施した。こすもす支援学校や小学校との交流を普段から行っているため優しく、思いやりのある言動ができています。しかし、友人の接し方を気にしていじめととらえた生徒が2名いたことから、丁寧に対応して解消することができた。 ○不登校の生徒が1名、体調を崩して欠席の多い生徒が3名いるが、保護者や関係機関と連携しながら解消に努めている。スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーの助言・指導や、関係医療機関の処方箋を保護者・本人と相談しながら休みが減るよう継続的に支援していきたい。 ○生徒会を中心としたA（あいさつ）B（ボランティア）、C（コミュニケーション）活動を感染症拡大防止のため制限も多くある中で、積極的に行うことができた。花いっぱい運動は、準備は十分にできているが感染症の状況を見て実施したい。また、輪太鼓の披露については中止が相次いだが、3年生を中心に伝統が受け継がれるよう取り組んでいきたい。 | 2.7 | | | |
| | キャリア教育の充実と協働しながらの主体的学習の推進（職場・福祉体験の充実と英検等資格取得、読書活動の推進） | ○学びたい度～ 91% ①将来の夢90%以上 | ○道徳科の授業においてのいのちの尊さに関する学習を、学級活動の時間に人権に関する学習を意図的・計画的に実施した。こすもす支援学校や小学校との交流を普段から行っているため優しく、思いやりのある言動ができています。しかし、友人の接し方を気にしていじめととらえた生徒が2名いたことから、丁寧に対応して解消することができた。 ○不登校の生徒が1名、体調を崩して欠席の多い生徒が3名いるが、保護者や関係機関と連携しながら解消に努めている。スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーの助言・指導や、関係医療機関の処方箋を保護者・本人と相談しながら休みが減るよう継続的に支援していきたい。 ○生徒会を中心としたA（あいさつ）B（ボランティア）、C（コミュニケーション）活動を感染症拡大防止のため制限も多くある中で、積極的に行うことができた。花いっぱい運動は、準備は十分にできているが感染症の状況を見て実施したい。また、輪太鼓の披露については中止が相次いだが、3年生を中心に伝統が受け継がれるよう取り組んでいきたい。 | 2.8 | | | |
| 徳育 | 道徳の時間の計画的実施と人権教育の推進（いじめ・不登校の解消） | ○いじめ認知解消率100%、 100%解消 不登校ゼロ 1名 ○学びたい度～ 93% ②学校に行くのが楽しい 90%以上 | ○道徳科の授業においてのいのちの尊さに関する学習を、学級活動の時間に人権に関する学習を意図的・計画的に実施した。こすもす支援学校や小学校との交流を普段から行っているため優しく、思いやりのある言動ができています。しかし、友人の接し方を気にしていじめととらえた生徒が2名いたことから、丁寧に対応して解消することができた。 ○不登校の生徒が1名、体調を崩して欠席の多い生徒が3名いるが、保護者や関係機関と連携しながら解消に努めている。スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーの助言・指導や、関係医療機関の処方箋を保護者・本人と相談しながら休みが減るよう継続的に支援していきたい。 ○生徒会を中心としたA（あいさつ）B（ボランティア）、C（コミュニケーション）活動を感染症拡大防止のため制限も多くある中で、積極的に行うことができた。花いっぱい運動は、準備は十分にできているが感染症の状況を見て実施したい。また、輪太鼓の披露については中止が相次いだが、3年生を中心に伝統が受け継がれるよう取り組んでいきたい。 | 3.0 | 3.0 | 3.1 | ○いじめとしてとらえた事に対して丁寧に対応をして解消した事はほっとした。 ○子どもたちは地域でよくあいきつができています。 ○道徳は人間としてこれからの人生に必要な事なので親身になっている点が良いです。 ○支援学校の存在は大変大きいと思います。今の優しく、思いやりのある気持ちを今後も持ち続けてほしい。 ○道徳の授業では実話を元にしてストーリーなどを教材として取り入れており、子どもたちの心情に響く授業をされていて、子どもたち自身から家庭で話をする事で家族でも、人との関りについて話し合う機会になりました。 |
| | 心を鍛える立腰の推進と豊かな心を育む交流活動の充実（立腰、支援学校との交流） | ○学校評価アンケート 65% 「立腰」90%以上 ○学びたい度～ 98% ④人の役に立ちたい90%以上 | ○感染症拡大防止のため身体接触を伴う種目への制限がある中、運動を継続して行うための情報提供や可能な範囲での体育の授業を計画的に行うことができた。体力を測定し、個人目標を設定し行う予定であった体力テストを4月に実施できなかったが、今まで蓄積されたデータを手掛かりに授業及び部活動でタブレットPCを活用し視覚的に分析しながら体力向上に努めることができた。全学年において持久力に課題があるため、年間を通して高まるよう手立てを講じたい。 ○避難訓練をこすもす支援学校中学部と共同開催する予定であったが、緊急事態宣言下にあったため単独開催となった。専門家を招聘したが、感染症対策のためキャンセルとなったため、安全担当主任を中心に地域の実態を踏まえながら、もしものために備える学習を進めた。また、教科の学習で災害についてや救急時の対応について学習をした。 ○合同大運動会や駅伝競走大会については、規模を縮小して行ったが、事前の練習や当日の活動など生徒は精一杯活動することができて一定の成果を得られた。 | 2.5 | | | |
| | 生徒会活動の軸としたボランティア活動と社会貢献活動の推進（ABC運動、花いっぱい運動、輪太鼓披露） | ○学校評価アンケート 65% 「立腰」90%以上 ○学びたい度～ 98% ④人の役に立ちたい90%以上 | ○感染症拡大防止のため身体接触を伴う種目への制限がある中、運動を継続して行うための情報提供や可能な範囲での体育の授業を計画的に行うことができた。体力を測定し、個人目標を設定し行う予定であった体力テストを4月に実施できなかったが、今まで蓄積されたデータを手掛かりに授業及び部活動でタブレットPCを活用し視覚的に分析しながら体力向上に努めることができた。全学年において持久力に課題があるため、年間を通して高まるよう手立てを講じたい。 ○避難訓練をこすもす支援学校中学部と共同開催する予定であったが、緊急事態宣言下にあったため単独開催となった。専門家を招聘したが、感染症対策のためキャンセルとなったため、安全担当主任を中心に地域の実態を踏まえながら、もしものために備える学習を進めた。また、教科の学習で災害についてや救急時の対応について学習をした。 ○合同大運動会や駅伝競走大会については、規模を縮小して行ったが、事前の練習や当日の活動など生徒は精一杯活動することができて一定の成果を得られた。 | 3.4 | | | |
| 体育 | 体力向上プランに基いた、授業、部活動を通しての体力向上の推進（体力向上） | ○体力テスト～全学年4種目以上、 未実施 県平均以上、 未実施 DE段階の割合10%以下 ○病欠～R1 163名、 R2 345名 ※不登校(傾向)4名の生徒分を含む ○虫歯(14名)等の治療率～ 71%(4名未治療) 前年度比アップ(81%以上) ○各種避難訓練、健康、安全学習～ 学期2回以上実施 2回 ○生徒アンケート満足度90%以上 合同運動会・駅伝競走大会 84% | ○感染症拡大防止のため身体接触を伴う種目への制限がある中、運動を継続して行うための情報提供や可能な範囲での体育の授業を計画的に行うことができた。体力を測定し、個人目標を設定し行う予定であった体力テストを4月に実施できなかったが、今まで蓄積されたデータを手掛かりに授業及び部活動でタブレットPCを活用し視覚的に分析しながら体力向上に努めることができた。全学年において持久力に課題があるため、年間を通して高まるよう手立てを講じたい。 ○避難訓練をこすもす支援学校中学部と共同開催する予定であったが、緊急事態宣言下にあったため単独開催となった。専門家を招聘したが、感染症対策のためキャンセルとなったため、安全担当主任を中心に地域の実態を踏まえながら、もしものために備える学習を進めた。また、教科の学習で災害についてや救急時の対応について学習をした。 ○合同大運動会や駅伝競走大会については、規模を縮小して行ったが、事前の練習や当日の活動など生徒は精一杯活動することができて一定の成果を得られた。 | 2.9 | 2.9 | 2.9 | ○三校合同運動会は、支援校の協力等で非常に喜ばしいです。 ○昨年は治療率が50%であったが、71%まで上がってきているのは喜ばしいが、全員が身体を大切にしてほしい。 ○地域の実態からみて、あまり危機感を持っていないが、災害や救急時の対応の学習は心強く思います。 ○体育は健康な体を続けていくための基本になることが表れています。 ●病欠が倍増しているのは気になります。コロナ禍で大変な一年だったので分かるような気がします。 |
| | 日常を通じての健康・安全に対するの自己管理、危機管理意識の高揚（治療率及び各種避難訓練、健康、安全学習） | ○食育・保健日より 毎月発行 ○朝食摂取率100%、 給食残食ゼロ ほとんどない ○給食センターとの連携～ 講話 ○年3回の弁当の日と給食感謝 週間を 実施した ○「食の贈り物in夏休み」 実施した ・学校評価アンケート 100% 「食育指導を実践」95% | ○新型コロナウイルス感染症について正しい知識と行動ができるように、緊急事態宣言解除後（5月）特に保護者を巻き込みながら取り組むことができた。「新しい生活様式」に基づき学校が安全な場所となるよう様々な手立てを講じることができた。 ○食に関心を持ち取り組む企画を予定通り実施することができたが、生徒及び保護者の意識調査ではもう少しであったので、改善が必要である。 ○給食を毎日提供していただいている栄養士さんから、食に関する講話を聴き、感謝の心や食事のマナーについて理解を深めることができた。朝食摂取率や残食についてはほぼ0の状況が続いているが、偏食など気になる生徒もいるので働きかけを継続したい。 | 2.8 | | | |
| | 「共生」「協働」を意識した体育的行事等の充実と推進（合同大運動会、駅伝ロードレース大会、部活動） | ○食育・保健日より 毎月発行 ○朝食摂取率100%、 給食残食ゼロ ほとんどない ○給食センターとの連携～ 講話 ○年3回の弁当の日と給食感謝 週間を 実施した ○「食の贈り物in夏休み」 実施した ・学校評価アンケート 100% 「食育指導を実践」95% | ○新型コロナウイルス感染症について正しい知識と行動ができるように、緊急事態宣言解除後（5月）特に保護者を巻き込みながら取り組むことができた。「新しい生活様式」に基づき学校が安全な場所となるよう様々な手立てを講じることができた。 ○食に関心を持ち取り組む企画を予定通り実施することができたが、生徒及び保護者の意識調査ではもう少しであったので、改善が必要である。 ○給食を毎日提供していただいている栄養士さんから、食に関する講話を聴き、感謝の心や食事のマナーについて理解を深めることができた。朝食摂取率や残食についてはほぼ0の状況が続いているが、偏食など気になる生徒もいるので働きかけを継続したい。 | 3.1 | | | |
| 食育 | 日常の給食指導を通しての食や健康への自己管理意識の育成（食育・保健日より及び朝食・給食の意識化） | ○食育・保健日より 毎月発行 ○朝食摂取率100%、 給食残食ゼロ ほとんどない ○給食センターとの連携～ 講話 ○年3回の弁当の日と給食感謝 週間を 実施した ○「食の贈り物in夏休み」 実施した ・学校評価アンケート 100% 「食育指導を実践」95% | ○新型コロナウイルス感染症について正しい知識と行動ができるように、緊急事態宣言解除後（5月）特に保護者を巻き込みながら取り組むことができた。「新しい生活様式」に基づき学校が安全な場所となるよう様々な手立てを講じることができた。 ○食に関心を持ち取り組む企画を予定通り実施することができたが、生徒及び保護者の意識調査ではもう少しであったので、改善が必要である。 ○給食を毎日提供していただいている栄養士さんから、食に関する講話を聴き、感謝の心や食事のマナーについて理解を深めることができた。朝食摂取率や残食についてはほぼ0の状況が続いているが、偏食など気になる生徒もいるので働きかけを継続したい。 | 3.2 | 3.1 | 3.0 | ○感謝の心やマナーを学べているところがいいです。 ○毎日3食しっかり食べる事で健康な体づくりである点がよく分かります。 ○残食ゼロはすばらしい。 ○コロナ禍で学んだことを今後の生活に生かしてほしいです。 ●給食の時間に地区生産の農畜産物を紹介してほしいです。 |
| | 家庭と連携した弁当の日と感謝する心の醸成（弁当の日、給食感謝週間） | ○学校評価アンケート 80% 「学校の様子」95%以上 ○参観日等の保護者の出席率 85%以上 4月18日 中止 6月1日 89% 11月10日 68% 2月22日 今月予定 ○学校関係者評価～平均3.5以上 | ○学校の様子は80%の保護者が伝わっていると肯定的であったが、ホームページや様々な便りを、さらに工夫して、学校の様子が伝わり、保護者の考えや地域の期待に応えられるように努めたい。 ○参観日をはじめ学校行事においては、新型コロナウイルス感染症の影響を配慮して、制限や日程変更、中止などにより参観者を増やすことができなかった。しかしながら、参観された保護者から、学級担任を通じて様々な情報を得ることができたので、改善できるよう努めることができた。 ○学校運営協議会は、5月、10月、2月の3回実施することができた。地域に開かれた学校づくりについてや、学校が地域からどのようなことに期待されているかなど建設的な協議会となり、学校経営の改善に生かすことができた。新型コロナウイルス感染症が収束したら、今年度生徒が開設した「おじゃつたもんせカフェ」を地域に開放して、集いの場となるようにしたいと計画を進めている。 ○県指定無形文化財である「東方輪太鼓踊り」は、新型コロナウイルス感染症拡大により催しがすべて中止となりお披露目することが出来なかった。東方輪太鼓踊りは、確実に伝承されるよう教育課程に位置付けて計画的に練習に励んでいる。お披露目の実践がなかった不安はあるが、次年度は地域で披露することで貢献していきたい。 | 3.0 | | | |
| その他 | 各種通信及び学校ホームページ等による地域への積極的な発信 | ○学校評価アンケート 80% 「学校の様子」95%以上 ○参観日等の保護者の出席率 85%以上 4月18日 中止 6月1日 89% 11月10日 68% 2月22日 今月予定 ○学校関係者評価～平均3.5以上 | ○学校の様子は80%の保護者が伝わっていると肯定的であったが、ホームページや様々な便りを、さらに工夫して、学校の様子が伝わり、保護者の考えや地域の期待に応えられるように努めたい。 ○参観日をはじめ学校行事においては、新型コロナウイルス感染症の影響を配慮して、制限や日程変更、中止などにより参観者を増やすことができなかった。しかしながら、参観された保護者から、学級担任を通じて様々な情報を得ることができたので、改善できるよう努めることができた。 ○学校運営協議会は、5月、10月、2月の3回実施することができた。地域に開かれた学校づくりについてや、学校が地域からどのようなことに期待されているかなど建設的な協議会となり、学校経営の改善に生かすことができた。新型コロナウイルス感染症が収束したら、今年度生徒が開設した「おじゃつたもんせカフェ」を地域に開放して、集いの場となるようにしたいと計画を進めている。 ○県指定無形文化財である「東方輪太鼓踊り」は、新型コロナウイルス感染症拡大により催しがすべて中止となりお披露目することが出来なかった。東方輪太鼓踊りは、確実に伝承されるよう教育課程に位置付けて計画的に練習に励んでいる。お披露目の実践がなかった不安はあるが、次年度は地域で披露することで貢献していきたい。 | 3.5 | 3.2 | 3.1 | ○東方輪太鼓踊りを教育課程に位置付けて計画的に練習されていることがありがたいです。伝承されることを東方区民は祈っています。 ○ホームページを見ていると学校の取組や様子がよく分かります。 ○学校の様子等については、東風（こっかぜ）を回覧しています。 ●地域の伝統ある東方輪太鼓踊りについては、保護者のご理解とご協力をお願いしたい。 ●今年は新型コロナでいつものように参加出席ができなかったと思います。 ●学校新聞はできれば10日か25日頃配達していただくと市報と一緒に回覧で回せるので助かります。 ●カフェについては、今色々な事件等も発生しているので、不審者対策も強化させていただきたい。 |
| | 参観日・学級懇談の充実 | ○学校評価アンケート 89% 「地域の伝統・文化を継承する取組の実践」95% | ○学校の様子は80%の保護者が伝わっていると肯定的であったが、ホームページや様々な便りを、さらに工夫して、学校の様子が伝わり、保護者の考えや地域の期待に応えられるように努めたい。 ○参観日をはじめ学校行事においては、新型コロナウイルス感染症の影響を配慮して、制限や日程変更、中止などにより参観者を増やすことができなかった。しかしながら、参観された保護者から、学級担任を通じて様々な情報を得ることができたので、改善できるよう努めることができた。 ○学校運営協議会は、5月、10月、2月の3回実施することができた。地域に開かれた学校づくりについてや、学校が地域からどのようなことに期待されているかなど建設的な協議会となり、学校経営の改善に生かすことができた。新型コロナウイルス感染症が収束したら、今年度生徒が開設した「おじゃつたもんせカフェ」を地域に開放して、集いの場となるようにしたいと計画を進めている。 ○県指定無形文化財である「東方輪太鼓踊り」は、新型コロナウイルス感染症拡大により催しがすべて中止となりお披露目することが出来なかった。東方輪太鼓踊りは、確実に伝承されるよう教育課程に位置付けて計画的に練習に励んでいる。お披露目の実践がなかった不安はあるが、次年度は地域で披露することで貢献していきたい。 | 2.8 | | | |
| | 学校運営協議会の充実・・・年間3回実施 | ○学校評価アンケート 89% 「地域の伝統・文化を継承する取組の実践」95% | ○学校の様子は80%の保護者が伝わっていると肯定的であったが、ホームページや様々な便りを、さらに工夫して、学校の様子が伝わり、保護者の考えや地域の期待に応えられるように努めたい。 ○参観日をはじめ学校行事においては、新型コロナウイルス感染症の影響を配慮して、制限や日程変更、中止などにより参観者を増やすことができなかった。しかしながら、参観された保護者から、学級担任を通じて様々な情報を得ることができたので、改善できるよう努めることができた。 ○学校運営協議会は、5月、10月、2月の3回実施することができた。地域に開かれた学校づくりについてや、学校が地域からどのようなことに期待されているかなど建設的な協議会となり、学校経営の改善に生かすことができた。新型コロナウイルス感染症が収束したら、今年度生徒が開設した「おじゃつたもんせカフェ」を地域に開放して、集いの場となるようにしたいと計画を進めている。 ○県指定無形文化財である「東方輪太鼓踊り」は、新型コロナウイルス感染症拡大により催しがすべて中止となりお披露目することが出来なかった。東方輪太鼓踊りは、確実に伝承されるよう教育課程に位置付けて計画的に練習に励んでいる。お披露目の実践がなかった不安はあるが、次年度は地域で披露することで貢献していきたい。 | 3.2 | | | |
| | 地域の伝統・文化の継承・・・東方輪太鼓踊りの伝承 | ○学校評価アンケート 89% 「地域の伝統・文化を継承する取組の実践」95% | ○学校の様子は80%の保護者が伝わっていると肯定的であったが、ホームページや様々な便りを、さらに工夫して、学校の様子が伝わり、保護者の考えや地域の期待に応えられるように努めたい。 ○参観日をはじめ学校行事においては、新型コロナウイルス感染症の影響を配慮して、制限や日程変更、中止などにより参観者を増やすことができなかった。しかしながら、参観された保護者から、学級担任を通じて様々な情報を得ることができたので、改善できるよう努めることができた。 ○学校運営協議会は、5月、10月、2月の3回実施することができた。地域に開かれた学校づくりについてや、学校が地域からどのようなことに期待されているかなど建設的な協議会となり、学校経営の改善に生かすことができた。新型コロナウイルス感染症が収束したら、今年度生徒が開設した「おじゃつたもんせカフェ」を地域に開放して、集いの場となるようにしたいと計画を進めている。 ○県指定無形文化財である「東方輪太鼓踊り」は、新型コロナウイルス感染症拡大により催しがすべて中止となりお披露目することが出来なかった。東方輪太鼓踊りは、確実に伝承されるよう教育課程に位置付けて計画的に練習に励んでいる。お披露目の実践がなかった不安はあるが、次年度は地域で披露することで貢献していきたい。 | 3.2 | | | |

| | |
|----------------------|---|
| 次年度の方向性についての 校長所見 | 本評価を通して、現在の本校の成果と課題がはっきりしてきました。コロナ禍の中、様々な行事が中止や制限しての実施となる状況で、チーム東方として、職員が一枚岩となり、重点目標達成のために尽力してくれ、目標はある程度達成できたのではないかと思います。「知・体・食」それぞれの領域で、成果として出てきたものは、次年度もさらに充実できるような教職員一丸となって努力していきたい。 課題としてあがってきたことを改善するため、以下の3点を重点施策として取り組んでいく。 ① 一人一台のタブレットパソコンを有効に活用しながら、いかに確かな学力を身に付けさせるか、授業の改善と個別の指導の充実を図る。 ② 立腰を意識した授業（活動）の始めと終わりの新しい東方中のスタイルを確立する。 ③ 「地域への貢献」、「郷土への愛」を土台に、心身ともに鍛えるキャリア教育と生徒会活動を推進する。 |
|----------------------|---|